

「下田まち遺産」とは下田の人たちが昔から大切にしてきたもの、これから新たに大切にしていきたいものです。美しい砂浜や歴史的な景観、伝統や人の営みによって育まれる地域文化などは、まさに「下田まち遺産」です。これは時代が変わっても人の心に残り続ける下田の誇りとなります。これらを未来に活かすためにも、私たちの力を合わせて守っていくことが必要です。どうか、皆様のご理解、ご協力をお願いします。

下田まち遺産ニュース①

新たにまち遺産 2 件
 「下岡蓮杖翁肖像画」、「田中邸」を認定しました。

平成 28 年 12 月 2 日～ 22 日の間に下田市民文化会館 1 階のマイマイギャラリーにて開催された「下田まち遺産ギャラリー」で、市民の皆様にもまち遺産候補のアンケートを回答していただき、新たに次の 2 件が下田まち遺産に認定されました。

下岡蓮杖翁肖像画 分野：文化

作成者は、旧一万円札の聖徳太子を描いた馬堀善孝(まほりよしか)画伯です。当時、旧下田小学校のかまぼこ講堂の建設計画を知り、郷土の誉れとして同校校歌に歌われている蓮杖の肖像画を描き、寄贈したものです。現在、下田市立図書館に保管されています。



下岡蓮杖翁肖像画。蓮杖晩年の姿が色彩豊かに描かれています。

田中邸 分野：歴史 所在地：下田市中

明治初期に建てられたなまこ壁の建物です。建物の周りの塀は、伊豆石で造られています。現在は修繕した上で住居として使用されています。



なまこ壁が印象的な田中邸の建物。

下田まち遺産ニュース②

下田登録まち遺産「土佐屋」を補修工事。

歴史的な建物は歴史的景観を守る上で重要となります。下田市では下田登録まち遺産の建物に対して、補修の際にかかる費用の一部を助成しております。先日、下田登録まち遺産である土佐屋(※)の霧除け修繕工事を実施しました。長年の雨風などにより基礎材が腐り、壁にひびが出てきた箇所を以前と同等の素材で修理しました。

※ページワンは土佐屋の建物に含まれています。

左上／修繕前のひび(点線箇所)が入った壁部分。
 右／ひびをふさぎ、モルタルで仕上げた壁部分。
 左下／建物外観(点線が修理箇所)



下田まち遺産ニュース③

今年で 3 回目の景観まちづくり賞が決定しました。

下田市では下田市景観まちづくり市民会議委員の協力のもと、下田市内にある既存建物や新築建物で景観的に優れた建物について、下田市景観まちづくり賞を選定し、表彰を行っています。今回は、建設課へ取組書・届出書の提出が始まる前の建築物が選定され、表彰されました。今後も継続して、市に提出される新築の届出書や取組書について、景観的に優れたものに関して景観まちづくり賞を選定し、表彰をしていきたいと思っております。



受賞者のみなさんと市長

受賞した 3 軒を紹介します。

① 山下邸



上／建物近景
 下／建物遠景

旧町内の下田らしい伝統的建造物の特徴である伊豆石の建物を改修して、その伊豆石を敷石などに活用しています。また、建物の高さを抑えることで歩行者に圧迫感を感じさせない効果を発揮し、敷地内にある既存建物の色彩を揃えることで落ち着いた景観を演出しています。周囲の景観に配慮したこれらの点が評価されました。

② 金栄堂



上／建物近景
 下／建物遠景

伝統のある和菓子屋をイメージして改装されています。1 階の店舗部分は、壁に漆喰などの自然素材を取り入れ、生活する 2 階部分は壁面を焦げ茶色にしています。また、窓に格子を入れることで、建物全体に落ち着いた雰囲気を与えるなど、これら景観に配慮した点が評価されました。金栄堂については本誌 7・8 ページで詳しく紹介しています。

③ 土屋邸



上／建物近景
 下／建物遠景

稲穂の里山に合う建物です。敷地は山を造成して建てられていますが、無理なく周囲の環境に溶け込んでいます。その整備した環境と建物が融合して、良い里山景観となっています。今回は里山と一体となったすばらしい住環境を作り上げた点が評価されました。建てられて数年経ちますが、周りの草や樹木など自身が手入れして美しさを維持されています。

	表彰名	建物名	所有者	建物種別	所在地	設計者	施工者
①	景観まちづくり賞 既存建築部門	山下邸	山下 曜子	住宅	下田市 二丁目	一級建築事務所 岡崎善隆事務所	有限会社 平井工務店
②	景観まちづくり賞 既存建築部門	金栄堂	土屋 喜昭	店舗兼住宅	下田市 武方浜	株式会社 土屋建設 一級建築事務所	株式会社 土屋建設
③	景観まちづくり賞 既存建築部門	土屋邸	土屋 博和	住宅	下田市 須原	三井ホーム	三井ホーム